

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第135号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真「新ロザリオ発達支援センター」	1	ご寄付に感謝	8
平成27年度ロザリオの聖母会事業概要	2	NHK歳末たすけあい	9
ロザリオ発達支援センター開設	4	銚子商業高等学校吹奏楽部 スプリングコンサート	10
連載 私の新人時代③「聖母療育園からのスタート」	5	ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画	10
第23回ロザリオの聖母会合同研修発表会	6	新任者・新入職員紹介	11
セクシャル・パワーハラスメント規程整備	6	フォトギャラリー	12
法人内通所連絡会 青葉会見学	7	行事予定	14
聖家族作業所 車両購入	7	職員・ボランティア募集のお知らせ	14

厳冬の時代を迎えて

― 27年度事業計画概要 ―

専務 野口厚司

2013（平成25）年8月6日付社会制度改革国民会議による「社会制度改革国民会議報告書」

「確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋」、次に2014

（平成26）年7月4日付「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」報告書、続いて2015（平

成27）年2月12日付「社会保障審議会福祉部会報告書」社会福祉法

人制度改革について」と国レベルでは急ピッチに社会福祉法人改

革議論が進み、改正法は2016（平成28）年4月施行との情報が

伝えられています。この間、特養に端を発した社会福祉法人の内部留保問題はその後

の専門機関による調査によって根拠のない感情論、イメージ戦略であることが論破されたようです

が、一度醸成された国民のマイナス感情を追い風にして27年度報酬

改定減額の根拠にされるに至りました。また、社会福祉法人と民間

企業とのイコールフッティング論は課税問題に波及し、今回はひと

まず沈静化したようですがいずれ再燃する可能性を関係者は危惧しています。

これら一連の動きは、社会福祉事業の民営化を推し進めようとす

る方向が顕著になってきたことを示しているように思われます。な

ぜなら、古くは国鉄・電電公社民営化や郵政、最近では農協改革の

道筋と社会福祉法人をめぐる動きが、規模や性格の違いはあるにせ

よ、軌を一にしているように見えるからです。アベノミクスの成長

戦略にしたがって民間企業参入を促進し、競争原理を働かせつつ公

の負担を圧縮するという動きの中に社会福祉法人をめぐる諸問題が

包み込まれているというのが実情ではないでしょうか。介護保険制

度では事業者の半分が民間事業者と言われている中にもその動向を知る

ことができ、また障害福祉や保育の分野でも民間参入が進んでいる

現実から見ても今後イコールフッティング論がより幅を利かせてく

ることが予想されます。ある識者の見解によると「全く根拠を持た

ない」というイコールフッティング論が社会福祉法人の不祥事報道

とともにムードに煽られて社会に喧伝されるその先には、再度税制

優遇制度見直し論などが狙上に乗せられる可能性が否定できないと

ころだと思われれます。このような環境の下で行われた

27年度報酬改定は、まず過去最大幅の減額といわれる介護報酬の

2. 27%切り下げが報じられ、2月に入ると障害福祉サービスの

ゼロ改定が知らされることになりました。両改定とも処遇改善加算（直接

処遇職員の給与を上げるための加算）を含めた上での数値であり報

酬本体部分は減額傾向が強いものとなりました。

障害福祉サービスの費の中では利用者の日中活動を支える生活介護

や就労系の減額幅が大きく、地域生活を支える大切なサービスのマ

イナス改定は理解しがたいものでした。試算によると70人規模の特

養では年間1500万円の減収、障害福祉分野では50人規模の入所

施設で、補足給付分も含めると1000万円近く減収するとの情

報が飛び交う状況もありました。これらまさには社会福祉厳冬の

時代とも言える環境の中で27年度の本会に目を向けると、新規事業

としては、児童の分野でロザリオ発達支援センターを開設する運び

となりました。このセンターは、従来行っていたふたば保育園（児

童発達支援、放課後等デイサービス）とロザリオ発達支援センター

の相談支援事業に加えて保育所等訪問支援事業を統合して一体的に

運営することにより地域の児童福祉サービスの向上を図るもので

す。

入所系においては、まず精神科病院海上療養所の患者減による

経営難をどう方向付け、改善を図るかが焦眉の課題です。創業者に

よる結核療養所時代、その後の精神科病院転換を経て第三の時代を

どう迎えるのか、厳しい条件の下ではあります

が関係職員の意識改革を基礎に法人の組織力を傾注して

全力で取り組む必要に迫られて

います。

福祉系入所施設では、国による定員削減数値目標が示される中で、地域の拠点としてどのような機能を発展させていくかが課題であり、本会の中で予算的に大きな割合を占める入所施設がどのような方向に舵をとり、求められる役割を地域で果たしていくかが問われています。具体的には利用者の入所生活の充実や高齢化対策を図りつつ地域移行を促進、短期入所枠の拡充、日中一時支援の充実や施設機能の地域への提供等があげられますが、例えば袖ヶ浦事業団の定員削減の呼びかけ（県内民間施設への利用者転所）にチャレンジするのも入所施設の責任と存在感を社会に示すよい機会となるでしょう。

通所系事業所は、個々の事業内容を明確にしてサービス、役割の分担を図り、利用者が段階を踏みつつ自立の道を目指せるような仕組みを構築することが求められます。またその過程が必要があれば新たな事業を展開することも検討します。加えて、関係職員の議論にあるような事業所の枠を超えた協力関係の構築も、実現すれば厳

しい経営環境を打開する一助になると思われます。

居住系は入所施設利用者、長期入院患者や触法障害者等の受け皿として地域で貴重な役割を担っています。また、事業の主たる担い手である世話人の不足がささひ、かとり両事業所の共通課題なので、夜間や朝晩勤務帯の多様な雇用形態を工夫、改善することなどを通じて雇用の安定に努めます。

訪問・相談系は、障害福祉分野では26年度、サービス等利用計画作成に明け暮れたという印象があります。27年度は自治体個々の進捗状況に応じて落ち着きを見ていくと思われ。なお、一部事業所では職員が入替わりなど不安定要素が強かったため27年度は体制を組み直して地元自治体や関係者の信頼を回復するよう努めます。

相談系事業所共通の課題は、予算も人員も余裕のない中で運営せざるを得ず、それが担当職員個々の疲弊につながる傾向が強いことにあるので、法人内事業所相互の協力関係をより強めることにより解決の道を切り拓いていきたい

と考えます。

以上、全体的に見て27年度の新規事業は児童分野のロザリオ発達支援センターのみですが、報酬改定の影響を探りつつ力をためる期間、新たな段階への助走期間と捉えたいと思います。

運営面では、27年度は報酬マイナス改定への対応が一番の課題であり、関係施設および職員が情報を寄せ合い、力を合わせて困難な局面の打開に努める必要があります。そのためには法人運営会議を始め施設・事業所長会議や事務連絡会の役割と責任は重大です。

また、4月施行の給与事務本部一元化の目的の一つは、施設運営上の基礎的業務部門を法人一元化することによって、施設事務職員が個々の施設・事業所運営に専念する固有の事務（請求、対利用者関係など）に専念することにあるので、そのことに自負を持って取り組んでもらいたいと思います。

最後に、困難な事態に直面したときに個人も集団も真価が問われるといます。今、まさに社会福祉法人としての真価が問われる時

代を迎えようとしています。

ロザリオの聖母会はこのように時にこそ創業の精神や歴史を切り拓いた方々の労苦を想起し、勇気を奮って事業を前進させたいと願います。思えば戸塚神父の1931（昭和6）年、小原ケイたちの1952（昭和22）年には社会福祉法人は存在しなかったのです。

以来、時は流れて社会が求める法人の姿は多様になってきていますが、時代や社会は変化しても福祉事業の本質は、創業時と同じく「目の前にいる支援を必要とする方々へのサービス」にほかならないと考えます。また、求められている姿そのものも利用者目線というよりは政府・財界主導によるものであることは諸情報から判断して明白です。

したがって、私たちが迎える新年度は、あくまでも利用者を中心に、変化が必要な部分には対応しつつも足もとをしっかりと見詰め、その時代の「光のあたり」に人々とともに歩む」との経営理念が地域社会に光を放つような活動を展開する一年としたい、と切に願います。

ロザリオ発達支援センター開設

ふたば保育園 主任 菱木悦子

ふたば保育園は、昭和63年8月から平成15年3月までの15年間、法人に勤務する職員の託児所として運営され、平成15年3月31日からは、障がいをもつ児童の通所事業を行ってきました。

平成23年3月11日、未曾有の東日本大震災にて建物被害にあり、20余年間多くの児童が通った赤い屋根ときいろい建物は使用できなくなりしました。その後、法人内にある施設の二階に移動してから4年が過ぎ、漸く新たに再建するこ



とができました。新しい建物は自然光を多く取り入れ全体的に明るく、そして広々とした設計となっており、お子さんが施設の名称でもあるふたばのようにすくすくと成長していける環境になればと思っています。

事業はロザリオ発達支援センターとなり、未就学のお子さんが通う『児童発達支援センター』ふたば保育園』、就学しているお子さんの『放課後等デイサービス』ふたばクラブ』、心身の発達に心配があるお子さんとご家族に対しての『療育相談・障害児相談』が一体となり児童の支援を行ないます。

ふたば保育園は、0歳から就学前までのお子さんが対象で、障がいをもつお子さんのお母さん、お父さんから離れても安心して過ご



せる場所があることを知ってもらいたいと思っています。また、隣接している重症心身児施設 聖母療育園を連携している事で、医療ケアを必要としているお子さんやリハビリを必要としているお子さんに対して、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士と協力して療育支援を行っていきます。

ふたばクラブは、障がいをもつ学童のお子さんの放課後および夏期休暇中等の支援を行います。小学1年生から高校3年生が対象で、学校のお友達とは違う関わりの中で、お子さんが安心して過ごせる場所であって、自分らしく社会にむけて成長して行くことができる支援を目指しています。

相談支援は、療育に関する相談をお受けしています。必要に応じて関係機関と連絡を取り合いながら困りごと等の解決を行っています。ご本人・ご家族はもちろん、団体やサークル、福祉サービス事

業所の皆様からのご相談もお受けしていますので、お気軽にご相談・お問い合わせください。建築にあたっては、震災前からの計画を含めると竣工までに5年の歳月を費やし、挫折と前進を繰り返し、今日に至りました。そして、建築資金の一部を、平成26年度の施設整備補助金を受け整備することができましたことに感謝いたしております。

この事業が地域の皆様に愛され、障がいを持つお子さんとご家族の拠点となり、地域や学校等と繋るよう努めて行きます。皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



連載 私の新人時代 ③

「聖母療育園からのスタート」

佐原聖家族園 園長 高木美枝子

私は、聖母療育園が創設された昭和63年6月に、保育士として採用され、当時、重症心身障害者ってどんな障害なんだろう？保育者ってどんなことをすればいいんだろう？と、不安と新たな仕事への期待とが入り混じった複雑な気持ちでいたことを思い出します。

まだ、聖母の建物も完成しておらず、今「みんなの家」が建っているあたりに古い木造の家があり、そこで、対象利用者を想像して、皆で手作り紙芝居を作ったり、絵を描いたり、開設の準備をしていたことを懐かしく思い出します。また、重症心身障害児施設にグループで見学や実習にも行かせていただきました。徐々に仕事の



聖母療育園職員旅行

イメージが持てるようになり、いよいよ聖母療育園の建物も完成。ホールから各部屋が見渡せる広々な雰囲気の中で執り行われる初めての祝別式では、心身ともに引き締まる思いと、これから頑張ろうと新たな仕事への期待に胸ふくらませていました。利用者が数名ずつ入所し、大半の利用者が学齢期であったため、八日市場養護学校（今の特別支援学校）の訪問学級が併設（現在の聖母リハ室）され、毎朝車いすを押して、病棟から管理棟を通って教室に送り、午後には学校の先生に送られ「ただいま」と病棟に利用者が帰ってきます。週2日の入浴日には、学校の先生も病棟で着替え

などの手伝いをしてくれました。私たちは、日中施設内で過ごす学齢期以外の数名の利用者を対象に、歌を歌ったり、散歩をしたりと試行錯誤で様々なことに取り組みました。音楽療法、摂食指導、機能訓練と必要と思われることは研修に参加するなどして学び、保育に取り入れて行きました。また、運動会、文化祭、クリスマス会など、利用者・家族・職員が一緒に楽しめる行事も行いました。何もかもが初めてのことばかりで、看護と保育の意見がぶつかり合ったこともありますが、今となっては良い思い出です。

法人内では、3年ごとに次々と新しい施設ができ、平成3年に聖マリア園、平成6年には、聖家族園が創設され、もともと知的障害の施設で働いた経験があった私は、自ら志願して異動となりました。聖家族園では、自閉症と知的障害とは違う関わり方が必要であると言われる始め、有志職員による勉強会が

始まりました。それがTEACCHプログラムについて学ぶきっかけとなり、10日間のアメリカノースカロライナTEACCHプログラム視察研修にも参加させていただきました。私にとって、後にも先にも初めての海外研修であり、何よりも自閉症を学ぶ機会をいただいたことに心より感謝しています。



ノースカロライナ TEACCH プログラム視察研修にて

さらに、平成14年6月には、法人独自事業の自閉症支援室に異動し、全国的に自閉症支援で知られている施設での実習や研修で、自閉症についてとことん学び、たくさんの方との出会いがありました。福祉の仕事について31年、辛かったこと、これ良かったのだらうかと悩むことも多々ありましたが、いくつもの事業所を異動し、若いうちにさまざまな経験ができたことは、私自身の財産であり、成長に繋がっていると 생각합니다。今までの出会えたすべての方に感謝申し上げます。

て31年、辛かったこと、これ良かったのだらうかと悩むことも多々ありましたが、いくつもの事業所を異動し、若いうちにさまざまな経験ができたことは、私自身の財産であり、成長に繋がっていると 생각합니다。今までの出会えたすべての方に感謝申し上げます。

第23回ロザリオの聖母会合同研修会について

海上療養所 院長 山田治

春の訪れを感じさせてくれる日々の中で、3月4日、例年通りに研修会が催された。

法人にとっては恒例とはいえ、報告者にしてみれば、さまざまな業務を担う事業体が一同に会しての研修発表を行う場への出席は初めてのことである。若い人たちが集う会場に足を踏み入れるだけで、春の温気以上の物を頬に受けとめ、開会を待った。

広報誌という性格からすれば、ここで当日の発表内容について報告すべきところだが、すでに合同研修会報という立派な冊子が用意されているので、詳細はそちらに譲る。

そこで、発表後の講評の段でも述べたことを少し記し、今回の報告としたい。

一つは、研修発表の趣旨という点である。各事業所や施設における業務内容を他の職場の人たちに



知ってもらうための紹介なのか、個々の現場で新たな課題を設定して取り組んでみた結果の発表なのか、はたまた現場の苦労話の披露なのか。なんともいえず混交した体の発表を何題か聴いていると、もどかしい気分が持続してしまつた。もちろん、これまで何10年にも渡る研修会の経緯を知らぬ者が、いきなりこうした議論を出すのは、かなり無礼な話ではある。しかし、このまま惰性に任せての蛇行を続けることとなつてしまつたら、結果、労力の無駄遣いになってしまうのではといった懸念も生じてくる。

次に、研究発表そのものの仕方・仕様を心得ている職員が存在している職場とそうでない職場との差異が出てしまっている気がする。当世風に言えば、プレゼンスの教育を受けているか否かの差が認められる点だ。発表の型やパターンを承

知ってもらうための紹介なのか、個々の現場で新たな課題を設定して取り組んでみた結果の発表なのか、はたまた現場の苦労話の披露なのか。なんともいえず混交した体の発表を何題か聴いていると、もどかしい気分が持続してしまつた。もちろん、これまで何10年にも渡る研修会の経緯を知らぬ者が、いきなりこうした議論を出すのは、かなり無礼な話ではある。しかし、このまま惰性に任せての蛇行を続けることとなつてしまつたら、結果、労力の無駄遣いになってしまつたのではといった懸念も生じてくる。

知していれば、たとえ発表内容が陳腐でも何らかの中身は聴衆に伝わるものだが、あれもこれもものてんこ盛りで情報を羅列していくだけでは、焦点が定まらず印象が散漫になってしまう。情熱が空回りしては惜しい。今後、内輪の発表会のみならず、法人外での発表を展望していくのなら、この点は今後の法人全体での課題となる。理事長奨励賞に輝いた聖母療育

セクシャル・パワー・ハラスメント 規程整備

本部 総務課 係長 白井英子

セクシャルハラスメントやパワーハラスメントの起こることのな

した。今後は「相談および苦情への対応」の方法を具体的に構築していくこととしています。

い明るい職場で働きたいと誰もが希望していることと思います。男女雇用期間均等法及びそれに基づく指針により、職場における男女双方に対するセクシャルハラスメント対策としての措置を講ずることが事業主に義務付けられています。また、職場のパワーハラスメントに悩む人が近年増加し社会的な問題となっています。

「これってハラスメント？」と思ったらひとりで悩まず、勇気を持って相談してみましよう。相談窓口担当者は、関係者のプライバシーや名誉、人権を尊重するとともに、秘密厳守で対応します。そして相談したこと又は事実関係の確認に協力したこと等を理由として不利益な取り扱いが行われないこととしています。

本会では、このハラスメントを防止するために、規程を整備しま

園による「ソフト食への取り組み」と、理事長敢闘賞を受けた友の家による「相談支援について」は、それぞれに日常の活動に立脚した内容で、実働されているみなさんの汗の量が偲ばれた。もちろん、その他の発表も、端々にセンスを秘めており、明らかに、春の微風の中での綻びを予感させてくれるものでした。前向きになれます。

法人内通所連絡会 青葉会見学

ワークセンター 所長 齊藤惣一

社会福祉法人青葉会がある柏市は、千葉県北西部に位置した人口40万人を越える中核都市です。

法人設立は平成25年8月と大変

若く、新進気鋭の四文字熟語がぴったりあてはまる法人で、事業内容も児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、地域活動支援センターⅡ型、就労移行、多機能型事業所『WITH US（生活介護、就労継続B、就労移行、GH、短期入所）』、職員数108人と、法人の設立から短期間でこれだけの事業展開です。

当日はとても寒い日でしたが、松井理事長とWITH USの楯施設長のお二人に温かく迎えていただきました。昨年新設された建物ほど



こもかしこも真新しく、室内に木の香りが漂う中で法人説明が行われました。「日中活動支援から夜間支援等、特に重度の方またその

家族への総合的な福祉サービスを「目指す」松井理事長のこの言葉は特に印象に残りました。

その後2班に分かれて施設見学となりました。中庭に位置するところでは利用者さんと職員が楽しそうに餅つきを行っており、GHへ向かう途中には、2階から脱出シミューターと思

われる滑り台のようなものが設置されていました。GHの個室は広く、ベットや机を置いて余裕です。説明による

と9畳もあり、そこには家族も泊まることができ、本人が不安にならない配慮がされていました。

私は自閉症の方の支援方法として「構造化」の固定観念を持っていましたが、こちらでは構造化を行わなくても本人とのコミュニケーションが取れるとのこと。創意工夫次第で新たなより良い支援方法が見つかることを学習させていただきました。

新キャラバン納車

聖家族作業所 副主任 及川昌宏

聖家族作業所では、今年の2月12日に新しくキャラバンを購入いたしました。おもに送迎や日中活動、外出する際に使用いたします。

この車輛は車椅子が2台乗車することができ、また、安全面を考慮し、バックモニターやドライブレコーダーも装備しました。利用者のみなさんも新しいリフトカーが納車され、喜んでおります。

安全運転を心掛け、大切に使用していきたいと思っております。



通所連絡会として初めての試みである先進他法人見学会でしたが、参加者も総勢27名と多く、それに各施設の中核を担う方たちの参加は、学ぼうとする意欲が強くまた頼もしさも感じ取れました。今後も通所連絡会として、次世代を担う方の参加しやすい企画を組むつもりです。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆◆「ご寄付に感謝」◆◆

歳末助け合い見舞い品

聖母療育園

このたび、旭福祉協議会より、共同募金歳末助け合い見舞い品として旭市共通商品券をいただきました。

聖母療育園の利用者は、自分で「これがほしい」「これを買いたい」とことばで表現することが難しい方ばかりです。それでも、園外に出掛けると体を感じる風、お店に並ぶ商品や人ごみにまで、目をキラキラさせます。いただきたい旭商品券を握り旭の商店街をくりだす姿を想像しながら利用者に「買い物に行こうね」と話し掛けると目をほそめて微笑んでくれました。聖母療育園の利用者と地域との交流の懸け橋になってくれた商品券、有意義に使わせていただきます。旭社会福祉協議会様にはこの場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

くろしお友の会様より寄付

聖家族園

このたび、聖家族園利用者家族の方が会員になっております「くろしお友の会」様より平成26年12月24日、第69回くろしお友の会クリスマス&チャリティーコンペにおいて19万7千円のご寄付をいただきました。

くろしお友の会は、平成21年銚子市を中心に年齢や性別を問わずゴルフ愛好者が集い、親睦と友好、融和をモットーに楽しむ会で、レインボーヒルズカントリークラブ内に事務局が設置されています。

同会は、平成21年より、チャリティーコンペをこの時期に行い、銚子市周辺の福祉団体などにチャリティー募金の寄付を行っております。

今回は、第7回目となり、150名の参加者によってチャリティーコンペが行われ、ロザリオの聖母会がご寄付をいただきました。

くろしお友の会様、ありがとうございました。ご寄付は法人内の施設整備に充当させていただきます。

これからも、くろしお友の会様がますます発展し、いつまでも多くの方がゴルフを楽しめますよう期待しており、またこれからも福祉施設への支援の継続をお願いいたします。



「あいおいニッセイ

同和損害保険株式会社」様より

法人本部

みんなの家が加入している「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」様から、平成26年2月13日に3名の方が来所され、30万円のご寄付を頂きました。

この寄付はあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様社員一同より、毎月少しずつ貯蓄されたものを毎年福祉団体に寄付されているそうです。今年は当法人にご寄付頂きました。ありがとうございました。



NHK歳末たすけあい

【聖マリア園】

聖マリア園ではこのたび、NHK歳末たすけあい助成事業様より寄付金をいただき、ロールボードを一台購入させていただきました。

これまでのロールボードが経年劣化から安全面に不安がありました。したが新しいものが入り、日々、利用者の移乗介助の安心・安全の確保と職員の腰痛予防に大変役立っています。

温かい善意をお寄せ下さった方々に心からお礼申し上げます。



【みんなの家】

このたび、みんなの家ではNHK歳末たすけあい助成事業様より、寄付金をいただき、炊飯器、ケーキ皿、タッパー類を購入させていただきました。

お客様ならびに利用者の方のご予約の際、数が不足しており、大変ご迷惑をおかけしてしたので、今回の購入により、同じお皿でお出しすることができるようになりました。

炊飯器も老朽化しており、ふたの部分に不具合が生じていたため、大変助かりました。大切に使用していきたいと思えます。



【ナザレの家かとり】

この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成26年度NHK歳末たすけあい義援金の配分を受け、ナザレの家かとりでは新規グループホーム「こなぐちハウス」に冷蔵庫、ソファ、カラオケ、空気清浄機を購入させていただきました。より快適で楽しい生活できるようにになりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



寄付者御芳名

平成26年
12月22日
～
平成27年
3月14日

武石 啓子 様
白百合幼稚園 様
飯島 英明 様
大和田 義郎 様
鈴木 ヒサイ 様
ハヤシ家電サービス 様
田 辺 弘子 様
土 居 八千代 様
聖心女子学院 五月会 様
ウエスレアンホーリネス教団
旭キリスト教会 様
入 江 由美子 様
高 橋 順子 様

小 濱 雅 則 様
江 波 戸 勲 様
米 本 弥 栄 子 様
（株）国際エアールジー
代表取締役社長 大山吉男 様
土 屋 和 夫 様
カーソリューションズ（株）
ヒゲタ醤油（株） 様
櫻 井 ふ く 様
鈴 木 洋 志 様
小 山 眞 己 子 様
七 種 洋 子 様
太 田 育 子 様



銚子商業高等学校吹奏楽部スプリングコンサート

【H27.4.2】



春光うらかな季節を迎えた4月2日、毎年利用者のみなさんが心待ちにしている千葉県立銚子商業高等学校吹奏楽部による「スプリングコンサート」が行われました。今回の演奏は、テレビ主題歌やフォスターメドレー、童謡ジブリ等どれも皆さん馴染みの曲で楽しめる構成となっていました。静かに聞き入る方や一緒に踊りだす方も居て、会場内は沢山の笑顔と大きな拍手や歓声に包まれ、心温まるひと時を過ごす事ができました。

顧問の先生を始め吹奏楽部の皆さんには、心より感謝とお礼を申し上げます。

聖家族作業所 主任 石橋典子

ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

- 1 計画期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日の3年間
第4期 (平成27、28、29年度)

2 内容

目標1 【有給休暇の取得率】

- ①第1期に引き続き、年次有給休暇の取得率を50%以上にする。
- ②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
- ③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対するの処遇配慮】

- ①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
- ②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
- ③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対するの処遇配慮】

- ①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】

- ①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対策

- ・法人の月報（職員向け広報紙）や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
- ・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
- ・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。

新任者紹介

佐原聖家族園



支援員

9月より勤務されています。明るく素敵な笑顔で利用者さんと元気に過ごしています。今後、その笑顔をお忘れず佐原聖家族園を盛り上げて下さい。

石橋 弥生

ナザレの家あさひ



事務員

入社して3ヶ月が経ちますが、毎日新しいことばかりです。初心をお忘れず頑張ってください。

永塚 彩

聖家族園



支援員

バスケットボール等のスポーツが得意です。若いパワーを十分に活かして笑顔が絶えない支援を目指してもらいたいです。

鈴木 朋弥

聖母療育園



調理師

さまざまなことを知っている、物知りの林さん。明るく人柄で、入職してすぐにみんなの輪に溶け込んでいます。期待される大型新人です！

林 秀雄

海上寮療養所



臨床心理士

2月入職。穏やかな言葉の響きに癒されます。入職前は京都の病院で5年ほど勤務していました。出身は兵庫県。趣味は読書と登山です。

高橋 一司

聖母療育園



言語聴覚士

言語聴覚士の江崎珠実です。趣味は洋服や雑貨を見て回るのとです。よろしくお願いします。

江崎 珠実



言語聴覚士

リハビリ科のSTとして入職しました遠藤亮子と申します。新しい職場での仕事を楽しみにしております。どうぞ、よろしくお願いたします。

遠藤 亮子



理学療法士

毎日エネルギーに仕事していきたくと思うので、よろしくお願いたします。

萩野 豪

海上寮療養所



調理員

みなさんを笑顔にする料理が作れるように頑張りたいです。よろしくお願いたします。

延 真理子

海匠ネットワーク



コーディネーター

穏やかな笑顔と口調で相談者様にとって心強い存在となっています。お酒とホットヨガを愛するグルメ女子です。今後の活躍に期待します！

宮内 聡美

今年度の入職員

みんなの家



支援員

喫茶のみわりで調理員として働かせていただきました。美味しい料理を提供していきたいと思ひます。

金井 優



支援員

聖家族園に配属されることになりました太田真帆です。精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

太田 真帆

聖家族園



支援員

聖家族園に配属になりました鈴木拓巳です。一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願いたします。

鈴木 拓巳

聖マリア園



支援員

持ち前の明るさと笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

鈴木 美穂



支援員

何事にも積極的に取り組むたいです。

加瀬 雪乃



支援員

4月より聖母療育園に配属されました。一生懸命がらばりしたいと思います。

渡辺 桃花

佐原聖家族園



支援員

今年から佐原聖家族園で働くことになりました。まだまだ未経験であるので、これから一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

高橋 季紗姫



支援員

明るく笑顔をお忘れずに、前向きに自分ができることを精一杯頑張ります。

清水 美香



支援員

私は、人見知りですが負けず嫌いな性格です。それからスポーツが好きです。よろしくお願いたします。

岡 秀貴



支援員

挨拶や会話といったかわりを大切にしようと思ひます。よろしくお願いたします。

藤原 俊

ロザリオ高齢者支援センター



介護支援専門員

一日でも早く慣れて明るく楽しく働きたいと思ひます。ご迷惑をおかけすることも多いかと思ひますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願致します。

野口 早苗

ナザレの家あさひ



支援員

4月からナザレの家あさひで働かせていただきます。若々しい心をお忘れず頑張りたいと思ひます！

荒井 貴徳

Photo Gallery

東総就業センター

聖ヨセフつどいの家



雇用支援ワーカー



支援員

相談しやすい和やかな雰囲気
の女性コーディネーターです。
利用者の想いに寄り添う丁寧
な支援を心掛けます

吉川 奈津子

3年越しの夢が叶いました。
利用者様やご家族との良い関係
をじっくり築いていきたいと思
います。

椎名 功

★聖マリア園★

いただきます。



美味しくな一れ。



いっくぞー。

★聖ヨセフつどいの家★



20歳おめでとう



おしゃれしちゃいました

★聖家族作業所★



皆といちご狩りに行ってきました。



美味いちごで一す♪

美味しいジャムができましたよ～




美味しいパンを作ります



みんな仲良しです

これから御馳走を食べます



★聖家族園★

ピバ・おんせん

スパ&リゾート 九十九里



仲のいい三人。。。天の石笛にて



豚汁おいしーい！

★みんなの家★

★佐原聖家族園★

◆一泊旅行◆

竜神大吊橋に 行ってきました！！




美味しい～。もう1杯！！



温泉に入った後の食事は最高～♪

《職員募集のお知らせ》

ロザリオの聖母会では、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という経営理念の下、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう、複合施設を経営するとともに、地域生活支援のため訪問、相談サービス事業等も実施し、利用者の豊かな地域生活を支援するよう努めています。職員の福利厚生、研修、育児介護休業制度等働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

□平成28年4月新卒職員募集

職場説明会開催 午後1時～(午後12時30分受付開始)

期日 平成27年6月6日(土)

法人概要説明、施設見学等(詳しくはHPをご覧ください)

職種	採用数	事業所	資格
支援員	10名	障害者支援施設	短大専門卒以上 普通運転免許

□既卒3年以内の正職員も上記と同条件で随時募集中

□障害児者医療に携わる看護師も随時募集中!

◆応募 随時面接を行っていますので、本部総務課までご連絡ください。

0479-60-0600(担当/採用係)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアの協力を願っています。
お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。
問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

ボランティア募集のお知らせ

行事予定

- 27. 4. 1 平成27年度辞令交付式、経営会議、幹部職員懇談会
- 2 銚子商業スプリングコンサート
- 3 決算事務研修会
- 6 対策本部会議
- 7 法人運営会議
- 8 経営会議、総合安全対策委員会
- 10 クリーンデー
- 14 法人運営会議
- 15 施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
- 21 法人運営会議
- 28 法人運営会議
- 5. 7 経営会議
- 8 クリーンデー
- 12 法人運営会議、研修会議
- 13 経営会議、総合安全対策委員会
- 19 法人運営会議
- 20 施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
- 22 監事監査
- 26 法人運営会議
- 27 理事会、評議員会
- 6. 2 法人運営会議
- 3 経営会議、総合安全対策委員会
- 6 就職説明会、安全運転講習会
- 9 法人運営会議
- 10 経営会議
- 12 クリーンデー
- 17 施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
- 20 後援会役員会、ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 23 法人運営会議
- 7. 1 経営会議、総合安全対策委員会
- 7 法人運営会議、研修委員会
- 8 経営会議、地元説明会
- 14 法人運営会議
- 15 施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
- 16 通所事業所連絡会
- 21 法人運営会議
- 22 理事会
- 28 法人運営会議

医療保護施設	海上療養所	就労継続支援B型事業所	ワーキングセンター	医療型障害児入所施設・療養介護事業所	聖母療育園	生活介護 児童発達支援(放課後等デイサービス) 聖母通園センター	児童発達支援事業所	ロザリオ発達支援センター	児童発達支援事業所	旭市子ども発達センター	障害者支援施設	聖マリア	障害者支援施設	障がい者の就労促進事業所	みんなの家	生活介護事業所	聖家族作業所	共同生活援助事業所	ナザレの家あさひ	高齢者支援事業所	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	通所介護・介護予防通所事業所	デイサービスセンター・ローザ	障害者支援施設	佐原聖家族園	生活介護・放課後等デイサービス	聖ヨセフつどいの家	共同生活援助事業所	ナザレの家かとり	地域生活支援センター	友の会	中核地域生活支援センター	海匝ネットワーク	障害者就業・生活支援センター	東総就業センター	香取市相談支援事業	香取障害者支援センター	障害者就業・生活支援センター	香取就業センター
--------	-------	-------------	-----------	--------------------	-------	----------------------------------	-----------	--------------	-----------	-------------	---------	------	---------	--------------	-------	---------	--------	-----------	----------	----------	---------------	-------------	----------------	----------------	---------	--------	-----------------	-----------	-----------	----------	------------	-----	--------------	----------	----------------	----------	-----------	-------------	----------------	----------



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。